

平成30年度「保護者等を対象とするアンケート」の考察
 < 幼児児童生徒数 計89人 回答数：68 回収率：76% > 【H30.12月実施】

1 結果の分析

(1) 『よくあてはまる』と『ややあてはまる』の合計が、90%以上の項目の過去2年間との比較

【表1 単位%】

	項 目	H30	H29	H28
教 育 方 針	1 学校の教育方針や指導の内容に共感できる	96	90	89
	2 一人一人のよさや可能性を伸ばせるような工夫をしている	92	85	94
	4 先生と子どもが信頼し合って活動している	90	89	86
	6 いろいろな人との交流を大切にし、子どもの経験を広めている	90	88	91
家庭との連携	7 教育方針や指導の内容を保護者（地域）へ分かりやすく伝えている	92	86	77
	9 子どもの様子等について、保護者への連絡や意思疎通を積極的に行っている	92	88	82
	10 参観の機会を設け、積極的に公開している	94	92	98
	12 子どもや保護者との懇談が十分行われている	92	90	94
	13 個別の教育支援計画を保護者や関係機関と連携して作成し、将来を見通した支援をしている	94	86	89
	15 教職員は、礼儀正しく、親切で親しみがもてる	90	86	92
	17 先生は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる	90	89	95
	21 授業内容や進度は、幼児児童生徒の実態に即している	90	79	83
そ の 他	27 医療機関と常に連携を図って、子どもの健康管理に気を配っている	96	89	94
学 校 独 自	39 PTA徴収金等の執行内容を詳細に公表している	96	97	95

昨年度と比較し90%以上の項目が6項目から14項目に増加し、一昨年度よりも多くなりました。他の項目も80%以上超えるものが多く、おおむね例年通り高い評価をいただいたことになると考えます。

(2) 『あてはまらない』と『あまりあてはまらない』の合計が、15%以上の項目の過去2年間との比較

今年度も、昨年同様『あてはまらない』『あまりあてはまらない』と回答した保護者の割合が15%以上の項目はありませんでした。

(3) 『わからない』が15%以上の項目の過去2年間との比較

【表2 単位%】

	項 目	H30	H29	H28
家庭との連携	8 教育活動に関する自己評価を分かりやすく伝えている	21	18	15
そ の 他	24 体罰の防止に努めている	28	19	23
	25 いじめや差別を許さず、厳しく対応している	22	18	18
	28 進路指導において関係諸機関との連携をきめ細かく行っている	19	16	21
学 校 独 自	32 部活動の各種大会への参加や、作品展示会等外部への働きかけを積極的に行っている	15	10	15
	34 情報保障のための情報の収集に、情報機器を有効に活用している	15	14	15
	35 各種資格試験・検定試験により、専門的な資格や技能を習得するよう支援し、進路指導に役立てている	19	11	15
	36 進路開拓や保護者への進路に関する情報提供を行っている	15	11	18

昨年度『わからない』の項目は、11項目から5項目に減少しましたが、今回8項目に増加しました。今年度は「ろう学校だより」を昨年度のA4サイズ両面1枚から、A3サイズ両面1枚にして、情報量を増やしたり、「PTAだより」「進路通信(羅針盤)」等を発行したりして、情報提供に努めてきましたが、まだ不十分な面があると思われます。

今後は、昨年度も課題となったホームページの情報量も増やしていきたいと思えます。他校のホームページを参考にしながら更新を進めていきます。

2 今後の課題

今年度も(2)『あてはまらない』『あまりあてはまらない』が15%を超える低い評価の項目はありませんでした。しかし、10%以上の項目が以下の5項目でした。「5 相談しやすい雰囲気である」・「11 進路に関する情報を適切に行っている」・「18 専門知識が豊かで教師としての資質を身に付けている」・「20 幼児児童生徒の実態を的確に捉えている」・「35 進路開拓や進路の情報提供を行っている」

特に項目36の進路の情報に関しては、『あてはまる』の回答が80%未満で、他の項目と比べて低い評価でした。進路に関しては、今年度から保護者だけの「企業・施設見学会」を実施するなどして、情報を得ていただく場を設けたり、全学部に「進路通信(羅針盤)」を発行したりしていますが、さらに工夫・改善を行い、適切な情報提供を行っていきたいと考えます。また、前述の『あてはまらない』が10%以上の項目については、全て『わからない』が15%以上であるので、より一層情報提供に努めていきたいと思います。

また、専門性の向上や教師としての資質の向上については、「新転任者研修」をはじめ各種研修を自校で行ったり、外部の研修に参加をして、職員会議等で他の職員に報告をしたりしています。今後もより一層研修内容を充実させていきたいと考えます。

なお、昨年度同様「25 いじめや差別を許さず、厳しく対応している」については、『あてはまる』が80%未満でした。依然高い評価をいただいているとは言えないので、いじめに関しては、『岐阜県学校いじめ防止基本方針』に沿って

- ・いじめは、どの学校でもどの子どもでも起こり得る。
- ・未然防止に努め、早期発見、早期対応をして重大事態を避ける。
- ・いじめは、絶対に許されない行為である。

といった姿勢で全職員がいじめ防止に努めていきます。また、「いじめ防止等委員会」の内容をPTA役員会や「PTAだより」でお知らせしたいと思います。

最後に、今年度も(1)『よくあてはまる』『ややあてはまる』の高い評価が多かったが、これが一過性のものにならないために、保護者との連携を密にし個に応じた指導・支援に努めるとともに、多くの情報を発信し、開かれた学校づくりに努めていきたいと思います。